

メッセージ 2

接ぎ木された命

聖書：ヨハネ 15:1, 4-5. ローマ 11:17-24. I コリント 6:17

- I. わたしたちはキリストにある信者として、接ぎ木された生活を生きるべきです。この生活の中で、わたしたちは主と一つ霊であり、主との有機的な結合の中で生きます——I コリント 6:17. ヨハネ 15:4.
- II. 聖書は、神が人と持つことを願う関係が、神と人が一となることであることを啓示しています——I コリント 6:17：
 - A. 神は、神聖な命と人の命が共に結合されて一つの命となることを願っています——ヨハネ 15:1, 4-5.
 - B. この一は有機的な結合、命における結合、すなわち接ぎ木された命です。
 - C. 神聖な命と人の命が接ぎ木されて一になるという概念は、奥義的であって、天然の観念を超えており、人の思考にとって異質なものです。
- III. 接ぎ木によって、二つの似た命は結合され、そして共に成長します——ローマ 11:17-24：
 - A. 接ぎ木は、接ぎ木される命が似ているときにはじめて、有効となり得ます。
 - B. わたしたちの人の命は、神のかたちに、神の姿にしたがって造られたので、神聖な命に結合されることができます。
 - C. わたしたちの人の命は神聖な命と似ています。ですから、神聖な命と人の命は共に接ぎ木され、そして共に有機的に成長することができます。
- IV. わたしたちがキリストの中へと接ぎ木されるために、彼は肉体と成ること、十字架、復活の順序を経過しなければなりません：
 - A. キリストが肉体と成って、ダビデの子孫、ダビデの枝、若枝となったのは、わたしたちが彼と共に接ぎ木されるためでした。彼がわたしたちであるのと同じになったのは、彼とわたしたちが共に接ぎ木されることができるためでした——ヨハネ 1:14. マタイ 1:1. ゼカリヤ 3:8. エレミヤ 23:5, 33:15.
 - B. キリストは十字架上で「切られ」ました。それは、わたしたちが彼の中へと接ぎ木されることができるためでした：
 1. キリストがダビデの枝になったということだけで、キリストがわたしたちと共に接ぎ木されることができるということを意味するものではありません。
 2. 接ぎ木することは切ることを必要とします。二本の枝は、両方が切られることがなければ、共に接ぎ木されることはできません：
 - a. キリストは十字架上で死なれたとき、切られました。
 - b. わたしたちは悔い改めて主を受け入れたとき、切られました。
 3. 切られた後、結び合わせることで有機的な結合が起こります。ですから、わたしたちは接ぎ木されることの中で、切られることと、結び合わされることと、有機的な結合を持ちます。
 - C. キリストは十字架上で切られた後、復活させられて命を与える霊と成りました——I コリント 15:45 後半. II コリント 3:17 前半：

1. キリストはそのような霊と成ることによって、接ぎ木される用意ができていました。
2. いったんわたしたちが悔い改めて主を受け入れると、主は命を与える霊として、わたしたちの霊の中へと入り、神聖な命をわたしたちの中へもたらします。そしてわたしたちは、キリストと共に接ぎ木されます——ヨハネ 20:22. ローマ 8:11 :
 - a. この命は、死と復活の命です。
 - b. キリストは命を与える霊として、わたしたち信者の中へと死と復活のかぎをもたらし、わたしたちがキリストと共に死んで復活させられるようにします——ガラテヤ 2:20。
 - c. わたしたちはこの死と復活の中で、キリストと共に接ぎ木されます。

V. わたしたちは再生された者として、接ぎ木された命を生きるべきです。その命の中で、双方は結合されて有機的に成長します——ヨハネ 15:1, 4-5 :

- A. わたしたちは、キリストの中へと接ぎ木された後、もはや自分自身によって生きるべきではありません。むしろ、わたしたちは霊なるキリストにわたしたちの中で生きていただくべきです——ガラテヤ 2:20。
- B. わたしたちはもはや自分の肉によって、あるいは天然の存在によって生きるべきではありません。むしろわたしたちは、自分の再生された霊、すなわちキリストに接ぎ木された霊によって生きるべきです——ローマ 8:4。
- C. わたしたちはこのように接ぎ木されることを通して、彼と結合され、彼とミングリングされ、彼と合併されて、キリストのからだとなります——12:4-5。

VI. 接ぎ木された命は、交換された命ではなく、人の命と神聖な命とのミングリングです——ガラテヤ 2:20 :

- A. 交換された命という観念は、わたしたちが自分の人の命を主に明け渡して、主がそれをご自身の神聖な命と置き換えてくださるというものです。
- B. クリスチャンの命は、交換された命ではなく、接ぎ木された命、すなわち、人の命と神聖な命とのミングリングです——ローマ 6:3-5. ヨハネ 15:1, 4-5 :
 1. そこには、命の交換や取り換えはありません。
 2. 交換するのではなく、神聖な命を人の命の中へと分与し注入して、神聖な命を人の命とミングリングします。
- C. クリスチャンの経験の中で最もすばらしい実際は、キリストにある信者たちが命の方法でキリストと結合されることです—— I コリント 6:17 :
 1. キリストであるものは何であれ、またキリストが行なったことは何であれ、完全に一つの事のためです。すなわち、キリストとわたしたちが有機的に結合され、接ぎ木された命を生きることができるためです——ヨハネ 15:4-5。
 2. 主は彼の回復において、接ぎ木された命というこの軽視された事柄を回復しつつあります。

VII. 接ぎ木された命の中で、人の命は除き去られるのではなく、神聖な命によって強められ、引き上げられ、豊かにされます——ローマ 11:17-24 :

- A. 接ぎ木された命の中で、枝はなおもその同じ本質的な特徴をとどめていますが、

その命はさらに良い命へと接ぎ木されることによって、引き上げられ造り変えられます：

1. さらに高い命がさらに低い命を征服します。
 2. さらに高い命がさらに低い命を豊かにし、引き上げ、造り変えます。
- B. 接ぎ木された命の中で、神聖な命がわたしたちの内側で働いて、消極的な要素を排除します——Ⅱコリント 3:18：
1. 神聖な命は徐々に働いて、天然的なものをすべて取り除きます。
 2. わたしたちの性情の消極的な要素は殺され、それから主はわたしたちの性情を投げ捨てるのではなく、それを引き上げ、用います。
- C. 接ぎ木された命の中で、神聖な命は神の当初の創造を復活させます——ヨハネ 11:25：
1. 神は、彼の創造を放棄する代わりに、それを取り戻されます。
 2. 神は、わたしたちの存在のすべての面を復活の中へともたらしことを意図しています——ピリピ 3:11：
 - a. 神聖な命は、消極的なものを排除するとき、働いて神の当初の創造を復活させます。
 - b. このようにして、わたしたちの本来の機能（創造のときにわたしたちに与えられた機能）は、回復され、強められ、豊かにされます——ガラテヤ 2:20。
- D. 接ぎ木された命の中で、神聖な命はキリストの豊富をわたしたちの内側の各部分に供給します——ローマ 12:2：
1. わたしたちの復活させられ引き上げられた器官は、キリストの豊富をもって供給されます。
 2. わたしたちはこのような供給を通して、わたしたちの思い、感情、意志において更新されます。
- E. 接ぎ木された命の中で、神聖な命はわたしたちの全存在に浸透します——ローマ 8:29-30：
1. キリストの豊富は、わたしたちに浸透し、わたしたちを造り変えます——ローマ 12:2. Ⅱコリント 3:18。
 2. 神聖な命のこの浸透によって、わたしたちはキリストのかたちに同形化されま